

松代大本営と 無言館を訪ねる旅 2日間

旅行期間

2019年5月29日(水)~30日(木)

旅行代金 39,000円

定員人数 30名(最少催行人数15名様)

申込締切 2019年5月8日(水)

添乗員 1名同行します。

※弊社の「いい旅いい仲間」の旅新聞で5月22日~23日でご案内していましたが、現地都合により5月29日~30日に変更になりました。急な日時変更お詫び申し上げます。

旅の同行講師

春日 恒男さん (文化資源学会)

長野県・長野市生まれ。芝浦工業大学付属
中学高等学校に35年勤務の後、

現在、芝浦工業大学地域連携・生涯学習
センター公開講座講師。

文化資源学研究者。靖国神社平和ガイド。



松代大本営(象山地下壕)

▲アジア太平洋戦争の末期、本土決戦最後の拠点として大本営、政府各省等を松代に移すという軍部の極秘計画のもとに構築した地下壕です。昭和19年11月から翌年8月15日の終戦まで約9ヶ月の間に当時の金額で約1億円とも2億円とも言われる巨費が投じられ多くの朝鮮の人々や日本の人々(当時の中等学校生徒や国民学校児童も含む)が動員されたと言われています。

プレ学習会

【日時】4月18日(木) 18:00~20:00

【講師】春日 恒男さん

【参加費】1000円

【場所】(株)富士国際旅行社 会議室

【内容】

「松代大本営と無言館」について、
プレ企画として学習会を行います。
フィールドワークでより学習を深める
ために一緒に学びませんか？
学習会のみのご参加もOKです！
お申込みは、当社までご連絡下さい。

旅のポイント

- 松代大本営跡は、「国内最大級の重要な戦争遺跡」であり、無言館は、「戦没画学生慰霊美術館」という世界的にもユニークな美術館です。
- 新緑の信州を巡りながら「戦争と平和」について静かに考える旅はいかがでしょうか
- なお、宿泊は名湯別所温泉をご用意しております。



無言館

▲無言館は窪島誠一郎氏により、信濃デッサン館の分館として平成9年に開館した美術館です。第二次世界大戦中、志半ばで戦場に散った画学生たちの残した絵画や作品、イーゼルなどの愛用品を収蔵、展示しています。